

平成30年度 6つの基本目標

重点事業

重点事業の総額
30億1,685万円

●は新規事業

1 皆が支えあう、誰もが元気なまちづくり 4,614万円

町民が年齢や性別、障がいのあるなしに関わらず住み慣れた地域で安心して生活できるよう、福祉や医療のサービス提供とともに地域住民による支えあいの活動を支援することを目指します。

- 子育て支援センター等運営事業 (436万円)
- 子ども・子育て支援事業計画策定事業 (252万円)
第2次子ども・子育て支援事業計画を策定するにあたり、子育てに関するニーズ調査を行う。
- 生活習慣病予防推進事業 (2,120万円)
- 健康づくり推進事業 (1,228万円)
- 家族介護教室開催事業 (3万円)
介護保険制度や介護技術等について学ぶ介護教室を開催し、介護についての正しい知識を身につける。
- <介護保険特別会計>
生活支援体制整備事業 (地域支援事業) (575万円)

3 誰もが住みたくなる、より良い生活環境のまちづくり 2億7,982万円

道路や住宅環境の整備、環境衛生の推進などにより、箱根に住みたいと思える環境づくりを目指します。

- 道路整備事業 (町道箱1号線ほか、計9路線) (1億5,200万円)
- LED街灯整備事業 (1,583万円)
観光街路灯、防犯灯、道路照明のLED化を進める。
- スズメバチ対策事業 (70万円)
スズメバチの巣駆除費用の一部を助成し、生活環境の向上を図る。
- 地籍調査事業 (689万円)
国土調査法に基づき、地籍の明確化を図る。(湯本山崎地内)
- <水道事業会計>送配水管整備事業 (1億440万円)



2 未来を拓く人材が育ち、町民相互に高めあうまちづくり 19億8,195万円

箱根に愛着を持ち、未来を拓く人材を育てるとともに、学んだことを地域で活かし、自己の能力を最大限発揮することができる社会づくり、人権を尊重し、交流によってお互いに高めあう社会づくりを進めることを目指します。

- 中学校校舎等整備事業 (19億1,833万円)
- 小学校校舎等整備事業 (5,670万円)
- 英語検定取得促進事業 (70万円)
中学生以上の町民を対象に、英語検定3級受験者には全額を、準2級以上の受験者には半額を補助し、英語力の向上を図る。
- 箱根関所設置400年記念事業 (235万円)
来年に、箱根関所開所400年を迎えることから、記念イベントの準備を進めるとともに、イベントを開催する。
- 国際親善交流事業 (387万円)



4 環境にやさしく、安全・安心なまちづくり 3億9,909万円

町の財産である自然環境を大切に、環境負荷の少ない循環型社会の形成、事故や災害に迅速に対応できる安全なまちづくりを目指します。

- 防災行政無線整備事業 [継続費] (2億2,283万円)
- 地震等災害対策事業 (917万円)
- 緊急輸送道路沿道建築物耐震化補助事業 (1,879万円)
- ごみ処理広域化推進事業 (853万円)
ごみ処理広域化に向け、輸送方法や中継施設整備などの基礎調査を行う。
- 湯本分署建設事業 (4,911万円)
2020年度の竣工を目指し湯本分署の基本・実施設計を行う。
- 消防車両整備事業 (9,066万円)

6 行政の効率的経営と官民協働体制の強化 2億2,242万円

限られた行政資源を効率的・効果的かつ計画的に配分しながら、健全な行財政運営を行っていくとともに、協働のまちづくりを更に進めることを目指します。

- ふるさと納税促進事業 (1億1,041万円)
- 斎場事務広域化推進事業 (1億1,101万円)
- 大学連携推進事業 (100万円)
観光、まちづくり及び教育等の課題解決のため、星槎大学及び横浜国立大学と包括連携協定事項の推進を図る。



5 癒しと文化を提供する観光産業づくり 8,743万円

多くの人々に安らぎとおいをもたらし、伝統文化や歴史が感じられ、世界から目標とされる国際観光地づくりを進めることにより、観光産業の更なる発展につなげることを目指します。

- 箱根DMO支援事業 (2,040万円)
平成30年4月設立の箱根DMOが実施するマーケティング事業などに対し、必要な支援を行う。
- 公衆トイレ整備事業 (3,815万円)
- 箱根ファン創出事業 (1,996万円)
- 国際観光プロモーション実施事業 (760万円)
- 箱根ジオパーク推進事業 (132万円)

